

▼構内における飲酒の禁止について

大阪公立大学では、学生・教職員および来学者の皆さまの安全確保と、健全な教育研究環境の維持を目的として、キャンパス構内での飲酒行為を原則として禁止しております。特に、大学敷地内での飲酒を伴う集会・イベント、建物周辺における飲酒、通行の妨げとなる行為については、事故・トラブルの防止の観点から、大学として厳に慎むようお願いしております。

なお、一部の学内飲食店においては、店舗管理のもとで提供されるアルコール類の利用のみ例外的に認められています。それ以外の場所での持ち込み飲酒・路上での飲酒・宴会行為等は一切禁止です。構内での飲酒行為が確認された場合、状況に応じて指導を行うとともに、学生については指導対象となる場合があります。

▼学生の飲酒について

大学生であっても、20歳未満の飲酒は法律で禁止されています。

安全で健全な学生生活のためにも、飲酒に関するルールとマナーを守りましょう。

新入生歓迎会や大学祭などのイベント時期には、大学生の飲酒事故が増える傾向があります。無理な飲酒の強要や、短時間で大量のアルコールを摂取する「イッキ飲み」は、急性アルコール中毒を引き起こし、命に関わる危険な行為です。十分に注意してください。

■ こんな人は、飲酒を勧められません

- ・ 現在もしくは過去に大病をした。
- ・ 体調が悪い。
- ・ 遺伝的にアルコール分解酵素がない人。

■ 急性アルコール中毒にならないために

- ・ 自分の適量、その日の体調を把握する。
- ・ イッキ飲みしない、無理強いはしない・させない。
- ・ お酒が飲めない体質の方は、周囲の人に「お酒が飲めない体質です」と事前に伝えておく。
- ・ 「アルコールハラスメント」：飲めない人や飲みたくない人にお酒を強いるのは「暴力」です。

■ こんなときは要注意！！

自分一人で立てない時、声をかけても反応が少なく吐き続けている時、短時間で酔いつぶれる時
《処置方法》

- ・ 絶対に一人にしない。
- ・ 衣類を緩めて呼吸が楽にできるようにする。
- ・ 意識障害がある場合は、窒息の可能性があるので、吐物が気管に詰まらないように注意する。
- ・ 顔面蒼白のときは保温につとめる。顔が赤いときは冷たいタオルで冷やす。

■ こんなときは医療機関へ！！

- ・ 大きないびきをかいて倒れ、呼んでも反応がない。
- ・ 顔色が悪く、意識も朦朧として手足が冷たい。
- ・ 呼吸状態がおかしい。

直ちに救急車を要請してください！！